

(7) 婚姻

婚姻件数は28,345組で、前年より915組減少した。

婚姻率は人口千人に対し4.0で、前年より0.1ポイント低下した。全国は前年より0.2ポイント低下し、4.1であった。(表-26)

婚姻率の年次推移をみると、昭和46年の11.7をピークに低下し、昭和62年に上昇に転じたものの、平成5年を境として再び低下傾向である。

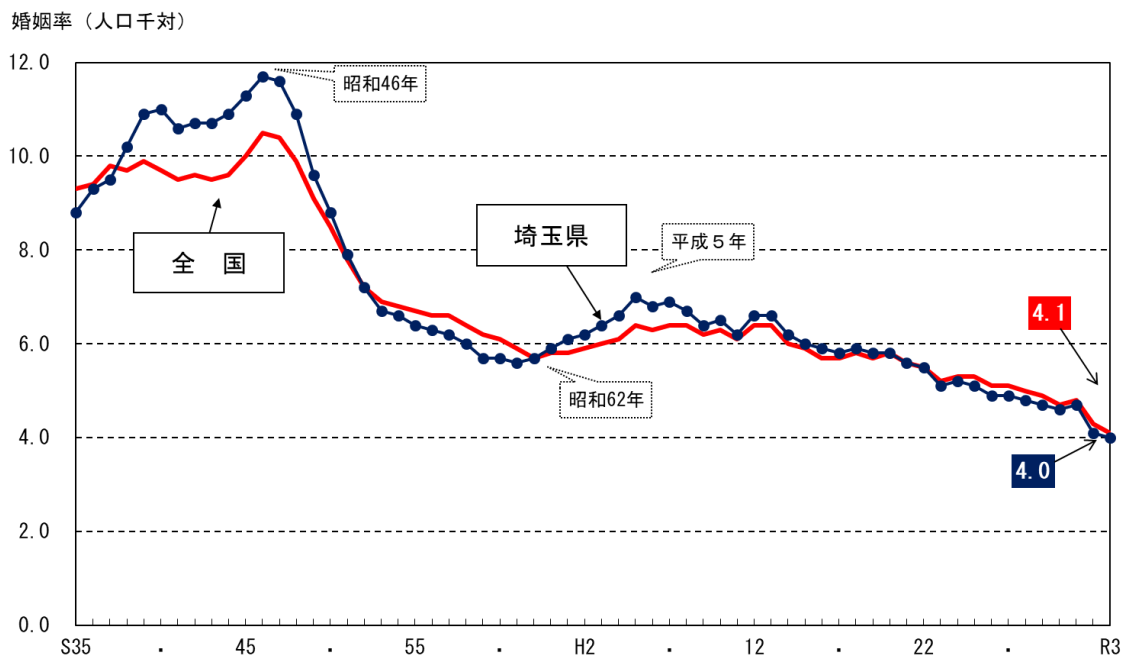
(図-23)

表-26 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7
数	埼玉県	21 485	33 131	43 517	42 340	34 708	33 446	39 234	46 224
	全国	866 115	954 852	1 029 405	941 628	744 702	735 850	722 138	791 888
率	埼玉県	8.8	11.0	11.3	8.8	6.4	5.7	6.2	6.9
	全国	9.3	9.7	10.0	8.5	6.7	6.1	5.9	6.4
		12	17	22	27	30	R元	2	3
数	埼玉県	45 636	40 486	39 160	34 757	32 745	33 671	29 260	28 345
	全国	798 138	714 265	700 222	635 225	586 481	599 007	525 507	501 138
率	埼玉県	6.6	5.8	5.5	4.9	4.6	4.7	4.1	4.0
	全国	6.4	5.7	5.5	5.1	4.7	4.8	4.3	4.1

注：率は人口千対である。

図-23 婚姻率の年次推移（埼玉県・全国）



平均初婚年齢は、夫31.4歳、妻29.6歳で、夫、妻ともに前年と同年齢である。全国は、夫31.0歳、妻29.5歳で、前年と比べると夫は同年齢、妻は0.1歳上昇した。

(表-27)

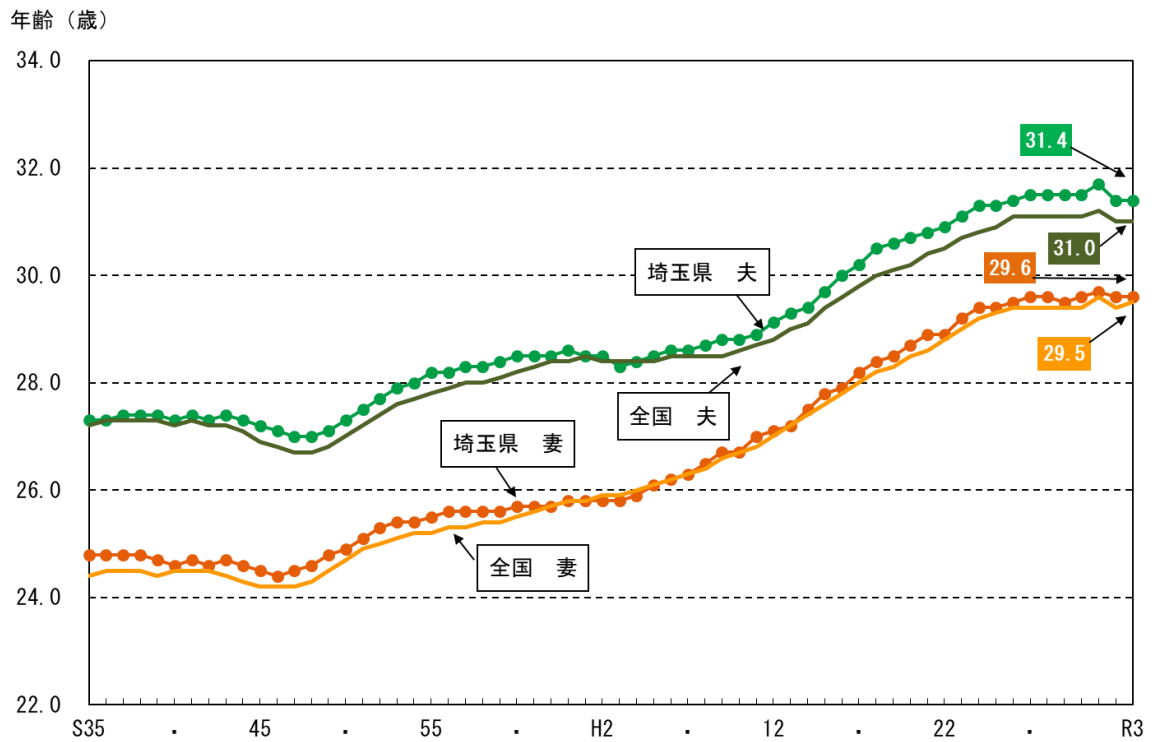
年次推移をみると、埼玉県、全国ともに、近年横ばいの状況が続いている

表-27 平均初婚年齢の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22	27	R元	2	3
夫	埼玉県	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.9	31.5	31.7	31.4	31.4
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.5	31.1	31.2	31.0	31.0
妻	埼玉県	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.9	29.6	29.7	29.6	29.6
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.8	29.4	29.6	29.4	29.5

注：各届出年に結婚生活に入ったものにより算出している。

図-24 平均初婚年齢の年次推移（埼玉県・全国）



(8) 離婚

離婚件数は10,626組で、前年より33組減少した。

離婚率は人口千人に対し1.49で、前年と同率である。全国は前年より0.07ポイント低下し1.50であった。(表-28)

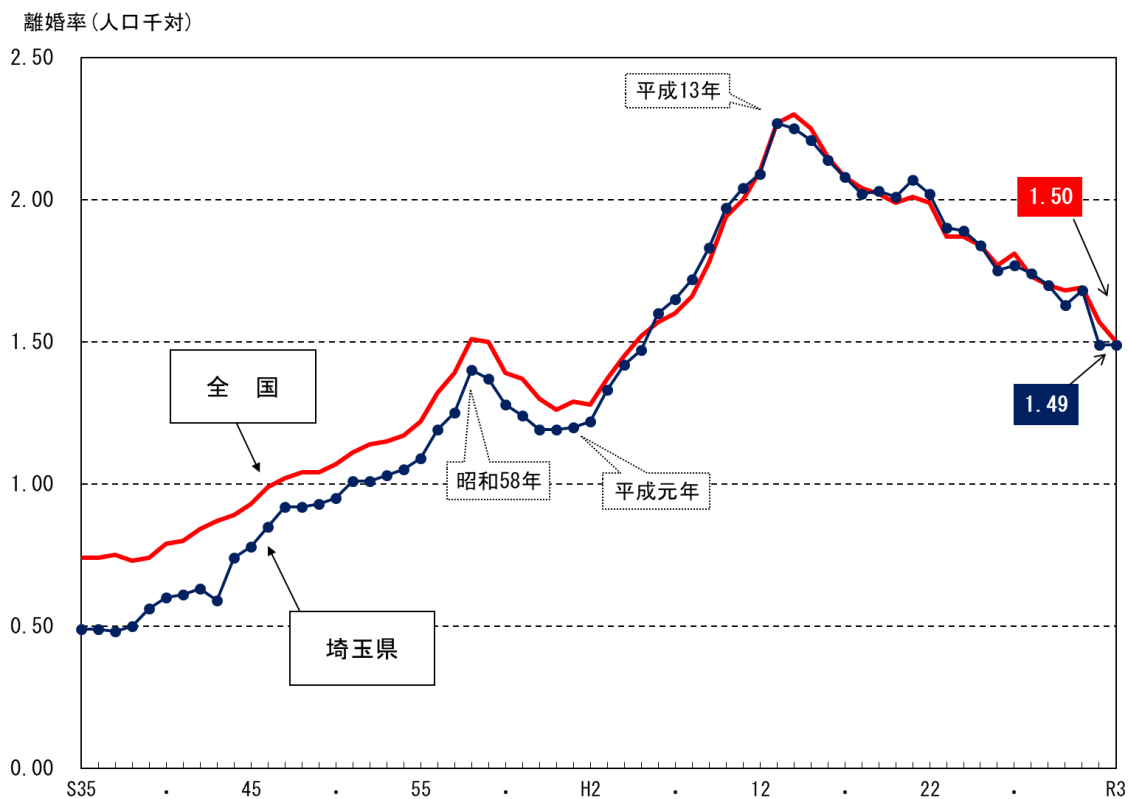
離婚率の年次推移をみると、昭和58年以降一旦低下した後、平成元年から上昇に転じた。平成13年にピークとなった後は減少傾向にある。(図-25)

表-28 離婚件数及び離婚率の年次推移

		S35	40	45	50	55	60	H2	7
数	埼玉県	1 182	1 797	2 990	4 584	5 901	7 494	7 775	11 062
	全国	69 410	77 195	95 937	119 135	141 689	166 640	157 608	199 016
率	埼玉県	0.49	0.60	0.77	0.95	1.09	1.28	1.22	1.65
	全国	0.74	0.79	0.93	1.07	1.22	1.39	1.28	1.60
		12	17	22	27	30	R元	2	3
数	埼玉県	14 368	14 521	14 325	12 667	11 716	12 067	10 659	10 626
	全国	264 246	261 917	251 379	226 238	208 333	208 496	193 253	184 384
率	埼玉県	2.09	2.08	2.02	1.77	1.63	1.68	1.49	1.49
	全国	2.10	2.08	1.99	1.81	1.68	1.69	1.57	1.50

注：率は人口千対である。

図-25 離婚率の年次推移（埼玉県・全国）



(9) 合計特殊出生率

合計特殊出生率は1.22で、前年の1.27より0.05ポイント低下した。全国は前年より0.03ポイント低下し1.30であった。

年齢階級別では30～34歳が最も高く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。（表-29、図-26）

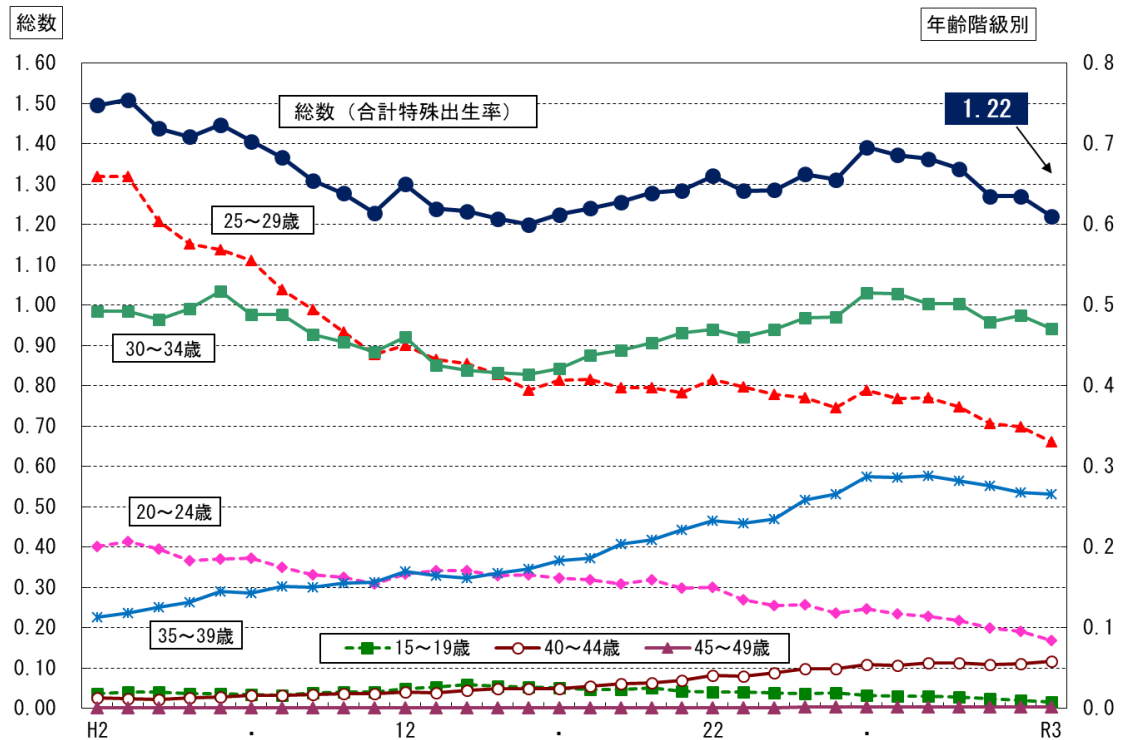
表-29 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

		H2	7	12	17	22	27	R元	2	3
埼玉県	総数 (合計特殊出生率)	1.50	1.41	1.30	1.22	1.32	1.39	1.27	1.27	1.22
	15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.0255	0.0200	0.0158	0.0114	0.0097	0.0075
	20～24歳	0.20	0.19	0.17	0.1617	0.1504	0.1234	0.0994	0.0955	0.0843
	25～29歳	0.66	0.56	0.45	0.4071	0.4075	0.3945	0.3528	0.3486	0.3301
	30～34歳	0.49	0.49	0.46	0.4216	0.4693	0.5147	0.4791	0.4872	0.4712
	35～39歳	0.11	0.14	0.17	0.1835	0.2322	0.2871	0.2756	0.2674	0.2653
	40～44歳	0.01	0.02	0.02	0.0246	0.0404	0.0547	0.0546	0.0549	0.0584
	45～49歳	0.00	0.00	0.00	0.0007	0.0010	0.0014	0.0016	0.0017	0.0014
全国	総数 (合計特殊出生率)	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45	1.36	1.33	1.30

注1：数値は、5歳階級別の出生率を合計したものである。ただし、埼玉県の平成27年分、令和2年分と全国の数値は、各歳の年齢別出生率を合計したものである。

注2：算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

図-26 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）（埼玉県）



市町村別にみると、高率順では、滑川町（1.48）、横瀬町（1.47）、宮代町（1.33）の順である。

また、低率順では、川島町（0.64）、小鹿野町（0.64）、東秩父村（0.67）の順である。（表－30、図－27）

表－30 市町村別にみた合計特殊出生率（高率順）

埼玉県								
順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率	順位	市町村	合計特殊出生率
1	滑川町	1.48	22	志木市	1.14	43	坂戸市	1.01
2	横瀬町	1.47	23	戸田市	1.13	44	吉見町	1.00
3	宮代町	1.33	24	所沢市	1.13	45	川口市	0.98
4	白岡市	1.30	25	川越市	1.13	46	美里町	0.98
5	長瀬町	1.29	26	日高市	1.12	47	羽生市	0.98
6	八潮市	1.28	27	桶川市	1.11	48	飯能市	0.96
7	伊奈町	1.28	28	蓮田市	1.11	49	行田市	0.96
8	深谷市	1.25	29	鴻巣市	1.10	50	杉戸町	0.93
9	朝霞市	1.24	30	和光市	1.10	51	寄居町	0.91
10	越谷市	1.22	31	鳩山町	1.10	52	越生町	0.90
11	本庄市	1.22	32	草加市	1.09	53	松伏町	0.89
12	東松山市	1.21	33	北本市	1.09	54	嵐山町	0.85
13	さいたま市	1.21	34	春日部市	1.09	55	幸手市	0.84
14	三郷市	1.20	35	三芳町	1.09	56	神川町	0.79
15	上尾市	1.20	36	富士見市	1.08	57	ときがわ町	0.76
16	吉川市	1.19	37	入間市	1.08	58	蕨市	0.75
17	新座市	1.18	38	ふじみ野市	1.08	59	毛呂山町	0.75
18	狭山市	1.18	39	加須市	1.07	60	小川町	0.74
19	熊谷市	1.16	40	上里町	1.06	61	東秩父村	0.67
20	秩父市	1.15	41	久喜市	1.05	62	小鹿野町	0.64
21	鶴ヶ島市	1.15	42	皆野町	1.04	63	川島町	0.64

注1：順位の算出には、小数点第2位以下を考慮している。

図一27 合計特殊出生率—市町村別状況—

